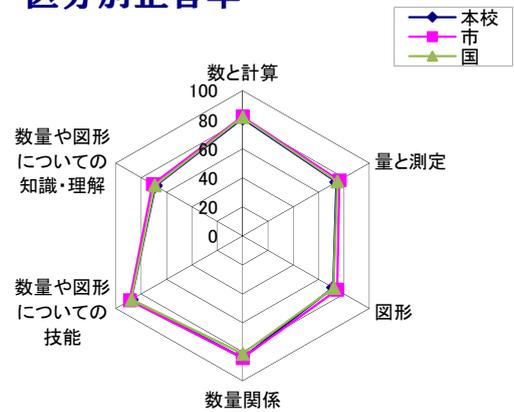


# 宇都宮市立御幸が原小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

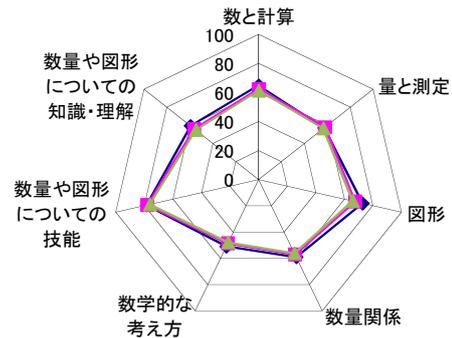
### 【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	80.9	82.2	81.8
	量と測定	74.0	76.4	74.8
	図形	71.5	74.5	71.8
	数量関係	84.1	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	87.9	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	68.8	71.1	69.5



### 【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	65.0	62.6	61.3
	量と測定	57.3	58.0	56.5
	図形	72.7	67.5	65.7
	数量関係	59.1	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	50.9	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	78.5	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	59.4	56.3	54.8



## ★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○	
---	--

## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○全般におおむね満足できる結果であった。特に算数Bでは、すべての問題で全国や県の平均を上回った。 ●算数Aで、整数-小数の計算での誤答が目立った。	・本校で実施している、毎週金曜日の朝の学習「算数チャレンジ」の時間を活用し、苦手な分野の復習をさせていきたい。また、宇都宮市で実施している「宮っ子チャレンジシート」も有効に活用していきたい。
量と測定	●算数Bで、「示された情報を基に条件に付いて考察する」内容での正答率の低さが目立った。 ○文章から結論を考察し、その理由を記述する問題は、全国や県の平均より高い正答率であった。	・これまでも、単元と単元の間や少人数学習のときに、思考力を要する教科書巻末の問題やトピック教材などを取り上げて児童に挑戦させてきたので、それを今後も続けたい。
図形	○●算数Bの内容はよく理解できている児童が多かった。しかし、算数Aの「コンパスを用いての平行四辺形の描き方」での正答率の低さが目立った。	・作図は興味・関心が高い内容なので、今後もスモールステップにおける個別評価の時間を多くしてより確実な技能を身に付けさせていきたい。
数量関係	○おおむね満足できる結果であった。 ※算数Bは、思考力を要する問題が多かったが、算数があまり得意でない児童も、何とか挑戦していた。最後まであきらめずに取り組むことができていた。	・この分野も、単元と単元の間や少人数学習のときに、思考力を要する教科書巻末の問題やトピック教材などを取り上げて児童に挑戦させてきたので、それを今後も続けたい。